

# 2010年度文学部卒業論文題目

## 【行動科学科】

### 〈哲学講座〉

- 加藤 雄 日本人の神観について  
長屋 貴彦 科学の線引き問題と進化論について  
日景 明夫 カント崇高論における自由な社会的関係のための実践的契機について  
金澤 暢紀 道徳的相対主義  
相原奈那子 トマス・アクィナス『神学大全』を足がかりとした感情とのよりよい関わり方の考察  
小野寺達也 トマス・アクィナスの観想論  
木皿 仁美 クーンのパラダイム論から考える科学の発展  
熊谷 友絵 「私」に関する新たな解釈の提案—Evansの「ここ」概念を手がかりに—  
橋本奈々未 「正義」を巡る考察—プラトンを手掛かりに—

### 〈認知情報科学講座〉

- 内田 瑠璃 事例の不連続性がカテゴリーの学習に与える影響  
大木 貴仁 共通基盤形成においてジェスチャーが果たす役割の検討  
大塚 崇博 ハトにおける斉一運動刺激の知覚的体制化の検討  
大野 靖子 ハトにおけるカウンティング課題を用いた数の短期的記憶現象特性と図形手がかりの関係からみる主観的輪郭の生成過程  
金谷 美貴 話し手の説明時におけるジェスチャーの視点の使い分けについて  
金 梨恵 イメージ連想課題におけるニオイの命名刺激と画像刺激の影響とその要因について  
小森 淑子 擬人化エージェントを用いた円滑なコミュニケーションに

関わる非言語的要因の研究

- 坂本 麻菜 音環境が与える黙読速度への影響  
鈴木 淳美 異なる状況における学習プロセスの変化の検討  
田中 雅子 類同的要因によるハトの知覚的体制化—色と形の交互作用の検討—  
西本 晴香 ハトにおける回転螺旋パターンの奥行き知覚—拡大・縮小運動の探索非対称性—  
濱崎 朝子 高次情報が単語処理過程に与える影響  
牧野 遼作 ジェスチャーにおけるホームポジションの変更要因について  
松浦 宗 カテゴリー学習におけるカテゴリ内部表象の変化の分析  
山崎佑里亜 2色配色が与える印象についての検討  
大林 芳江 ハトにおける人の顔刺激を用いた視覚探索—妨害刺激の斉一性とカテゴリ化の効果—

〈心理学講座〉

- 寺沢 有希 知覚時間の伸長における視覚刺激の量的要因が及ぼす効果についての検討—異なる方法論間での比較—  
市来 悠 同性愛者に対する顕在的・潜在的態度の変容の検討—One IATによる連合学習を通して—  
井上はるか 表情の動的特性が感情的印象に及ぼす影響—視覚的慣性効果を用いた検討—  
岩本 佳子 メロディ歌唱がピアノ練習に及ぼす効果の検討  
江河あゆみ 情景認知の際に生じる境界拡張に事前の時空間的文脈が及ぼす影響  
工藤 桃子 Flank transparencyの色拡散に刺激の輝度条件が及ぼす影響  
古西奈津美 多義語の曖昧性解決における認知的負荷とワーキングメモリ容量の影響  
小林 佑馬 プライム由来の表記の親近性によるターゲットの語彙判断への影響の検討

- 近藤 瑤子 BGMによる気分一致効果への実験的検討—商品評価への適用可能性の検討—  
 佐藤優美香 課題に対する得意不得意が、日本人の原因帰属傾向に及ぼす影響の検討  
 菅原 萌 2D：4D比と空間認知課題パフォーマンスとの関係の検討  
 高野 淳也 映像の観察による注意の捕捉が直後の行動の実行に及ぼす影響の検討  
 辻田 匡葵 遅延順応による運動と感覚との時間関係の再校正—感覚モダリティ間での転移の検討—  
 鳥居 美緒 聞き手側の要因が皮肉理解に及ぼす影響  
 長澤 昌美 陰性残像と対比残像に対する輪郭の効果  
 原 亜弥奈 連続フラッシュ抑制の基礎メカニズムの解明—空間周波数と方位に対する選択性からの検討—  
 古林 香織 知能としての情動知能—情動知能と社会的能力・一般知能との関連—  
 水野有里紗 抑うつ傾向の違いが情動ストループ課題処理に及ぼす影響

〈社会学講座〉

- 伊藤 雅一 個人化する社会で個人化に抵抗する手立て—求められる場と文化—  
 太田 真澄 反抗期論  
 岡野 和夫 ゲートボールからグラウンドゴルフへの流行の移りと、そこからみられる老人の変化  
 恩田裕香子 「団地」への視線—イメージによる「異質化」と現状—  
 勝 加奈子 ケータイのオンラインコミュニケーションと自己  
 金子 周一 日本社会におけるコンビニ—地域の拠点としての可能性—  
 川部 恵美 国立公園とは何か—日本の国立公園の「今」から見える課題と展望—  
 菊池 郁絵 メディア利用からみる世代間のコミュニケーションの変容  
 佐藤 仁美 ユーモア・笑いを浸透させることへの広告利用の可能性  
 下垣明日実 究極のサービス コンシェルジュ—サービス労働の本質—

- 菅原 普 渋谷・宮下公園における公共空間の可能性  
関本 康二 日本の社会的企業とその普及の限界  
竹下 康太 会社人間の現状と今後  
田中 陽子 女性にとっての働きやすさ  
根本真奈未 現代のナショナリズム—ナショナリズムの担い手と「右傾化」—  
日浦 藍 外見の装いは内面の化粧  
宮崎 望 感情労働—ディズニーキャストに焦点を当てて—  
森 詩織 モンスターペアレントという観点からみた学校と保護者の関係性  
渡部 克哉 喫煙から見る健康観と取り巻くその社会的背景

〈文化人類学講座〉

- 小松 宣昭 聴覚障害者について—障害の構築と個人の経験を検証—  
深谷 淳 鹿の角を紅く染める サポーターにおける地域アイデンティティと暮らし—鹿島アントラーズを事例として—  
比佐 英之 「ブソウズ」—沖縄池間島の「すまなり」—  
秋田 千明 現代日本社会と介護  
秋積 彩 「閉じる」からだ「劈く」からだ—踊ることからの考察—  
磯辺 愛美 「生」の相互作用—千葉県いすみ市におけるIターン者の事例により—  
小林 寛明 隣のおオヒキガエル—ハビトゥス化と客体化の狭間で—  
佐藤 圭悟 不思議の国の久慈ありす  
蘇 宇 創られた「清真世界」—中国回民族エスニシティへの歴史・人類学的アプローチ—  
松本 早紀 青梅宿における観光まちづくりの実践

【史学科】

- 石井 絢子 桃山時代輸出漆器制作による日本国内向け漆器への影響  
長野 克哉 大正デモクラシー期における陸軍とデモクラシー運動家のデモクラシー観の相違—吉野作造の民本主義論との比較—

- 秋元 宏之 9～10世紀初頭における東アジア海洋勢力の意義—朝鮮半島西南海を中心に—
- 大寫 通代 12—13世紀南フランスにおけるカタリ派の定着
- 小林 翔 活版印刷術による出版の変容とその最適化の過程について—15～17世紀のヨーロッパを中心に—
- 野村奈津美 ミケランジェロ《サン・ピエトロのピエタ》—伝統と革新—
- 稲永 紘子 新オスマン人と出版—ナームク・ケマルの論説から—
- 稲葉 綾平 第一次世界大戦期ドイツにおける食料欠乏への対応
- 牛山 美樹 近世フランスの結婚—モンモランシー事件（1556-1557）を中心に—
- 氏家 和彦 北部九州の弥生時代開始期についての考察—土器から見た弥生時代の開始—
- 大平 絵理 近世長崎における「キリシタン」取り締まりと長崎奉行
- 小櫃 良平 清朝における八旗制度について—雍正期八旗改革の再検討—
- 加藤 貴明 初期装飾古墳の検討—埋葬施設と円文の分析から—
- 唐澤 良恵 近世後期地方城下町における若き者の存在形態について—丹後田辺城下を中心に—
- 木田 麻美 エドゥアール・マネ《オランピア》における黒人女中の表象—オリエンタリズム絵画との比較を中心に—
- 國貞 洵 初期日本植民地下台湾における先住民教育の位置付け
- 小芝 麻実 『千葉妙見大縁起絵巻』の制作意義—千葉氏重臣原氏の関与を中心に—
- 小林 智裕 国家神道形成過程における神社と民衆—氷川神社を事例に—
- 志柿 毅弥 「海賊」問題からみるペルシア湾岸地域の国際情勢—18世紀末～19世紀初めまで—
- 多賀 秀哉 斎藤内閣期における政党政治復活の可能性と限界
- 竹林 春香 進取社における組織体制及び自由民権思想の考察—「進取社規則」・『進取雑誌』の考察に焦点をあてて—
- 玉井 莊丞 アメリカ市民権運動研究の問題の検証—チャールズ・W・

- イーグルスの指摘を参考に—  
中 美沙樹 インドと綿花問題  
廣瀬 芳香 フランソワ一世による言語政策とガリカニズムの萌芽—  
—ヴィレル＝コトレ勅令を中心に—  
藤本 匡人 解放直後朝鮮における伝統的政治文化の葛藤と展開—  
—濟州島四・三事件を中心に—  
古川 沙樹 近世田辺城下における祭礼の特質—祭礼の空間構造と町方の構造—  
南 佳子 筑前竹槍一揆の動向整理と被差別部落焼き討ちに向かう過程  
興石 尚実 近世後期における葬送儀礼と社会—丹後国田辺城下を中心に—  
吉田 朱花 戦前の女性教育と国語教科書—千葉県立千葉中学校と千葉県立千葉高等女学校における教科書比較を通して—  
大窪 一也 英領インド教育論争におけるアングリシストの性格—アングリシストの主張を手がかりに—  
儀間 南 セン・シュヴァンクマイエル作品にみる女性像—味覚と触覚の表現—  
渡辺 翔太 戦国期境目の動向からみる大名権力—駿河葛山と遠江井伊の比較を通して—

### 【日本文化学科】

- 相川慎一郎 日本映画の現在  
蟻川 友里 山形県村山方言の研究—格助詞「サ」について—  
飯島 智也 忠臣蔵のパロディ  
石井由希子 若者ことばの研究—文法的破格表現を中心に—  
石打 健 舞台芸術化されたロシア民間の結婚儀礼—バレエ作品『結婚』—  
糸山実希子 千葉県北東部方言における「パー」についての記述的研究  
岩下 舞 児童文学の境界線  
内田 麗奈 時代劇の研究

- 加藤 周子 有島武郎『或る女』論  
 亀田 恵海 アイヌの恋愛観  
 川嶋 菜緒 田村俊子「あきらめ」論—初出と単行本の比較を中心に—  
 岸本奈々子 坂口安吾「戦争と一人の女」「続戦争と一人の女」論  
 高地 沙和 心に流れる川—隅田川周辺の伝説を例に—  
 近藤 秀帆 韓国における日本語学習インターネット・コミュニティー  
 の研究  
 今野恵美子 「伊曾保物語」私論  
 齊藤 綾乃 近世三大遊郭における遊女語の比較研究  
 斎藤 竜登 集団語としてみた「2ちゃんねる語」について—一般的  
 集団語との差異を探して—  
 坂爪 淳 宣教師らの記録に見る中世社会  
 相良 好美 インターアクション場面における質問表現の研究  
 佐藤 百合 騙す英雄  
 東海林志緒 谷崎潤一郎『春琴抄』論  
 長峯 明子 ケータイ小説の日本語学的研究  
 中山 京子 若者における呼称使用の分析  
 中山 尚哉 意外性を表すとりたて助詞「さえ」と「まで」について—  
 とりたてられる要素と対比される要素の、述語句の実現に  
 ついての関係及び意外性導出の差異—  
 長山 桐子 装身（ファッション）の研究—女性誌からみるファッショ  
 ンの変遷—  
 橋浦 政典 現代日本語の価値判断形式について  
 藤井 沙季 アイヌの巫術tusu  
 北條 良平 風呂・銭湯攷  
 前田和貴子 サハリンアイヌの動物観  
 松本 祥尚 御伽草子に見る狐像  
 丸山 怜依 『新累解脱物語』試論  
 三澤 浩史 黄泉の国と根の堅州国  
 水落 清香 お嬢様ことばの系譜—文末表現からうけるイメージ—  
 宮口 香織 武者小路実篤論

油布真理子 副詞「やっと」「ようやく」「ついに」「とうとう」の異同  
について

吉田 侑 古代日本における月信仰—記紀・万葉を中心に—

【国際言語文化学科】

千葉 知也 地下室の男 治らぬ病

江口 侑衣 Joy Kogawa's *Obasan*: What Kogawa Tries to Tell by  
Showing Three Different Ways of Being a Japanese  
Canadian Woman through the Narrator Naomi

ネランダ スリマル Rivalry in Love: A Comparative Study of  
Chaucer's *Knights Tale* and Shakespeare's *Two Noble  
Kinsmen*

穴澤 里奈 The Relation between Male Disguise and Marriages in  
*As You Like It*

網倉 玲 ナチス期のW. フルトヴェングラー—影響と評価—

池谷はるな ココ・シャネルのスタイル—なぜシャネルのスタイルが受  
け入れられたのか—

石川 愛理 サティと子ども—『子供の音楽集』を中心に—

磯山 浩美 メタ複製技術時代のアウラの受容体験について

岩城 杏菜 Gardens and Children in Juvenile Literature

上木 愛美 対人行動の日米比較

内野なつ記 How is the Other Viewed?: Comparative Studies of the  
Japanese and the US Fashion Magazines

大川ひろみ フランスのカフェ文化—パトリック・モディアノ作品か  
ら—

大黒 智也 Self and Subjectivities in *The Lord of the Rings*

大塚 萌 「幽霊」に関する語とその概念の各国語比較

岡田 有美 American Musical Films and Their Response to Social  
Change

加藤 幸実 アメリカ合衆国におけるホロコーストの記憶—大衆文化が  
担う記憶の伝達—



- 杵鞭 絵美 American Society and Culture of the 1960s Illustrated in Movies of 2000s
- 久野麻里子 バレエ・リュスにおけるパトロネスの存在
- 小池 郁 Urbanism and Loneliness: Theodore Dreiser's *Sister Carrie*
- 小林 弘実 王政復古期の社交界と出世—オノレ・ド・バルザック『ゴリオ爺さん』の考察—
- 財前翔太郎 『アドルフ』—義務的な愛—
- 白井由希子 J.M. クッツェー『ダスクランド』における想起とナラティブ
- 鈴木裕佳理 Androgynous Black Femininity in *Sula* and *The Color Purple*
- 砂子 絵理 American Ideals in Presidents' Speeches from W.W.II to September 11
- 高木 香苗 来日ロシア人と日本人のロシア観：明治期を中心に
- 高須 隆二 ドストエフスキー『罪と罰』漫画版の比較
- 高橋 司 現代日本のドストエフスキー：文学と社会への影響
- 土橋まりか La vida y el pensamiento de José Ortega y Gasset
- 中園 蘭 Zu prototypischen Eigenschaften der Satzstruktur im Deutschen
- 中村 俊郎 新世紀エヴァンゲリオン—ストーリー、世界観から見る作品分析—
- 野崎 祐孝 A Study of British Novels in the 1990s: Fragmentalization of National Identity
- 平出 早紀 The *Get-*passive in English
- 平本 美晴 The Message of Fashion: The Relationship between Vivienne Westwood and Cultural Change
- 藤田 早紀 都市空間へのまなざし
- 藤村 涉 ポール・クロードルの日本観
- ミラー成三 接触場面における日本人の英語使用
- 本吉 綾子 難破船救出から始まる日本とメキシコの交流の歴史

- 吉澤英里奈 ドイツの第1次世界大戦前における戦争や破壊を表す芸術—ホッデイス、マイトナー、ハイム、マンを中心に—
- 渡邊 祐子 アゴタ・クリストフ三部作における双子のアイデンティティと書く行為について
- 綿貫 由菜 Paul Auster's *The New York Trilogy*: Symbols, Influences and the Mental Life of the City
- 桃澤 龍一 現代のモードに関する分析
- 森 満里絵 概念メタファー「ことばは食べ物である」からみる人間の概念体系—密接性と日英比較からの考察—